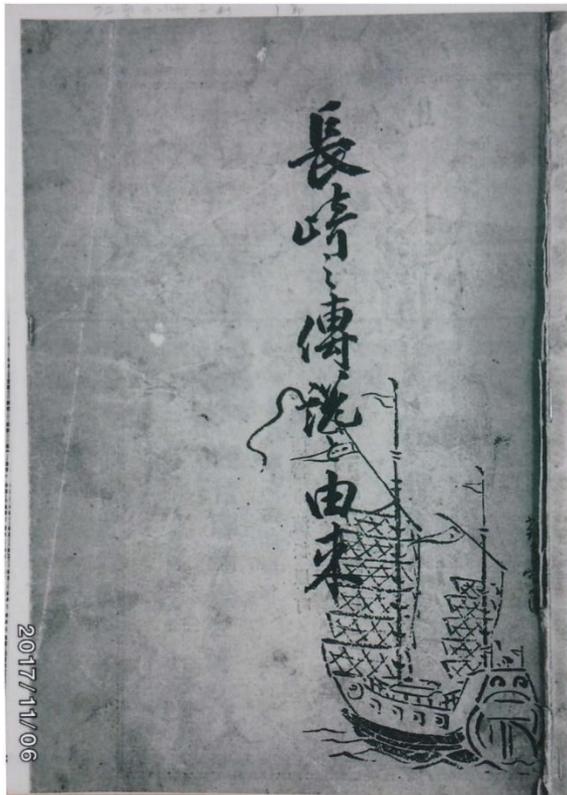


1958年（昭和33年）9月17日 NHK第一放送
「長崎の手紙」放送



釘本小八郎



生先郎八小本釘驅先の界學語

畧 歴

先生は安政四年四月長崎市磨屋町の醫家に生れられた。嚴父は早逝されたが先生は夙に九才の時から當時の會所に通つて和蘭陀語を習ひ始められ後に清美館と云つて語學教授所が獨立したが明治初年廣運館と改名された。其處で和蘭陀人から英語を習得されたのである。先生の英語に和蘭陀語のアクセントがあつたといはれるのはその爲である。

廣運學校（以前の立山の中學校）が明治九年英語學校と改名された時全校に補助教師となり物價が現在の十分の一位だつた其頃二十五圓を給せられ長崎での高給者の上位であつたのである。

明治十年英語學校は廢校され明治十二年頃縣立外國語學校創立せらるゝや全校に教師となり明治十九年全校も亦廢校され初めて我長崎中學校が生れたのである。

開校と同時に先生は此處に教鞭を執らるる事となつたが明治二十年一時退職され東山學院に轉せられた。其翌年文部省から無試験檢定の英語教師證書が来たのである。そして明治二十九年再び尋常中學（現長崎中學校の前身）に教員となり引續き嘱託として昭和二年まで教鞭を執つて何千といふ許多の子弟を導かれたのである。現在には以前長中の講師であつたランバック先生と共に通信講習所に教授として壯者を凌ぐ元氣をもつて育英の事に勵精せられてゐる。



皇太子殿下御降誕奉祝記念
昭和三年十一月一日撮影 友崎會

鎮西大社 諏訪神社



白石町 陽興寺 (須古鍋島家御霊屋)



あや (長女) 昌光 (長男) 継母
 フミ (小八郎妻) 小八郎 昌二 (次男)



あや 昌光 昌二 (三兄弟)
 あやの夫



釘本つなよ・昌光・小八郎
 (母) (岳父) (祖父)

(釘本家・母方家系)



釘本昌二 (母方の叔父)
 1885 (明治18年) ~ 1961 (昭和36年)
 勅任官
 (旧東京大学・コーネル大卒)